**職　務　経　歴　書**

**20xx年xx月xx日現在**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

株式会社○○○○のデータセンターにて、サーバー構築・監視作業を3年経験した後、株式会社△△△のクラウド事業部に転職。3年間、クラウドエンジニアとしてサーバー構築、アーキテクチャ設計に従事しました。

**■職務経歴詳細**

　□20xx年xx月～現在　株式会社△△△ クラウド事業部

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 期間 | プロジェクト内容 | 環境 | 役割／規模 |
| 20xx年xx月～現在 | 大手機械メーカー向けDR環境構築プロジェクト【概要】基幹システムに対する災害対策のため、データセンター付近で災害が起きた際にオンプレミス環境からクラウド環境に自動移行するための移行環境構築【担当業務】提案書作成：工数見積もり、およびシステム構成図を作成要件定義：業務部（エンドユーザー）との仕様決め打ち合わせに参加。議事録を作成基本設計：移行方式を選定。基本設計作成詳細設計：パラメータシート作成。メンバーが選定した設定値のレビュー実施構築　　：オンプレミス環境に合わせたサーバー、ネットワーク環境をクラウド上に構築進捗報告：プロジェクトリーダーとして、進捗会議にてお客様に報告【ポイント】顧客の既存環境がHyper-V環境であったため、クラウド環境に移行する際にリスクが少ないと思われるAzureのサービスを選定（移行のためのシステム変換が不要であるAzure Site Recoveryを利用するのが最適であると判断したため）自社内でAzure Site Recoveryの初導入PJであったため、ノウハウを型化結果：前例がないプロジェクトでありつつも納期通りにプロジェクトが完了したことと、仕様書や設計書、構築ツールを型化したことが評され、優秀プロジェクトマネジャーとして社内表彰を受ける | AzureLinuxVirtual NetworkLoad BalancerVPN GatewayAzure BackupAzure Site RecoveryWindows PowerShell | PM要員数：5名(PJ全体：70名)【管理項目】コスト管理工程管理進捗管理品質管理予算：○百万円 |

　□20xx年xx月～現在　株式会社○○○○ データセンター

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 期間 | プロジェクト内容 | 環境 | 役割／規模 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 | 大手教育機関向け学習データ連携プロジェクト【概要】基幹システム及び学習アプリのデータ連携システム基盤構築【担当業務】商談活動、要件定義、基本設計、詳細設計、構築、テストエンドユーザーが使用する学習アプリのテストデータをビックデータで蓄積する為にAzureのAzure SQL Database（PaaS）を導入【ポイント】商談活動において、インフラ基盤をすべてクラウド環境で構築する案を出す企業が多い中で、弊社としては、セキュリティ担保の観点から基幹システムはインフラ基盤・学習アプリのデータ蓄積基盤をクラウド環境に置くことを提案。ハイブリットクラウドの設計・構築を実現 | WindowsAzure SQL DatabaseVirtual NetworkLoad BalancerVPN GatewayExpress RouteAzure Site RecoveryWindows PowerShell | PL要員数：2名(PJ全体：50名)予算：○百万円 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 | 自社データセンターにおいて運用監視業務概要データセンターにおけるサーバー構築・運用保守担当担当業務サーバー監視、データセンター内温度管理、新規サーバー構築 | WindowsLinuxCiscoZabbix | メンバー要員数：20名予算：○百万円 |

**■テクニカルスキル**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| OS | UNIX（HP-UX）Windows2012Linux（RedHat） | 4年2カ月1年4カ月 | 要件に応じた環境設計・構築が可能インストールから環境構築、開発が可能手順書をもとにインストール可能 |
| 言語 | Windows PowerShell | 5年6カ月 | 処理の自動化が可能 |
| データベース | Oracle PostgreSQL | 5年6カ月7カ月 | 構成の最適化が可能インストールから簡単なテーブル作成が可能 |
| OSS | DockerAMANDA | 1年1年2カ月 | 要件に応じた環境設計・構築が可能効率的なバックアップ設計が可能 |
| Azure【IaaS】 | VMLoad BalancerVPN GatewayExpress RouteAzure Site RecoveryAzure Backup | 3年3年3年3年1年2年 | 要件に応じた環境設計・構築が可能要件に応じた環境設計・構築が可能要件に応じた環境設計・構築が可能要件に応じた環境設計・構築が可能要件に応じた環境設計・構築が可能要件に応じたバックアップ設計が可能 |
| Azure【PaaS】 | Azure AD Domain ServicesAzure SQL Database | 2年2年 | 要件に応じた環境設計・構築が可能インストールから簡単なテーブル作成が可能 |
| AWS【IaaS】 | EC2VPC | 1年1年 | 要件に応じた環境設計・構築が可能要件に応じた環境設計・構築が可能 |
| GCP【IaaS】 | Compute EngineVPCネットワーク | 6カ月6カ月 | 要件に応じた環境設計・構築が可能要件に応じた環境設計・構築が可能 |

**■活かせる経験・知識・技術**

顧客折衝

エンドユーザーとの仕様決め打ち合わせに参加、議事録を作成。

プロジェクトスタート後は、○○機能チームの案件リーダーとして、週一での進捗報告会議にも出席しています。

プロジェクトマネジメント

スケジュール管理・コスト管理・進捗管理・人員管理まで経験しています。PMPの取得を目指し、理論と実践を融合し、チームパフォーマンスの最大化を常に意識しながら業務を遂行してきました。

業務知識・開発経験

Azureに関しては、○百万円規模のシステムを全体構築できるレベルの知識を有します。

PaaSの組み合わせとそれを考慮したIaaS基盤を構築することができます。

AWS・GCPについては簡単なIaaS設計・構築が可能であり、3大パブリッククラウドのプロダクト・サービスを比較してソリューション提案をすることができます。

**■保有資格**

・AWS認定ソリューションアーキテクト（20xx年xx月）

・Azure　MCP70-534（20xx年xx月）

**■自己PR（技術、PM、顧客）**

相手の立場に立ったコミュニケーション

特にユーザー折衝、構築メンバーへの技術指導を行う上で、より良い人間関係を構築できるよう努めてまいりました。いきなり自分の意見を述べるのではなく、まずユーザーの意見を十分に聞いた上で一緒に考え、最適な解が出せるよう努めてきました。構築メンバーへの技術指導については、構築に必要な業務知識から説明することにより、メンバーが納得感、参画意識をもって開発に従事できるように心がけました。こうしたスタンスでのコミュニケーション方法は、私の今後のキャリア形成においても様々なフェーズで活きてくると思っております。

**■自己学習**

マルチクラウド人材を目指して

実務ではAzureメインで業務遂行をしていますが、顧客にとって最適な提案ができる人材になれるようマルチクラウドに対応できる人材を目指し、AWS・GCPも自己学習しています。IT勉強会支援プラットフォームサイトを活用し、クラウドサービスごとの勉強会に定期的に参加するよう努めています（年間あたりAzure4回、AWS3回、GCP2回）。このような勉強会に参加することで最新のOSS情報も集め、自身の知見を深めています。

以上